

群馬大学サマープログラム 2020

—群馬で現代日本社会を学ぶ—

募集要項

1. 目的

本プログラムは、本学交流協定校あるいは将来本学の協定校と成り得る機関（以下協定校等）に在籍する学部学生及び大学院生を対象に、日本語学習・日本文化体験のための特色あるプログラムを集中コースとして提供し、日本社会や日本文化の理解を深め、あわせて群馬大学への関心を高めてもらうことを目的として実施するものです。

2. プログラム概要

日本のほぼ中央に位置する群馬県は豊かな自然環境と独自の産業に恵まれています。しかし、自然災害、生活習慣病、多文化共生、伝統文化の伝承などの問題に直面しており、これらは、現代日本社会が抱えている問題でもあります。そのため、本プログラムでは、群馬の社会、人、自然、文化についての多面的な知識を学び、体験することを通して、現代日本社会の抱える課題とその解決策を多国から集まる参加者と共に議論します。

A コース：英語による日本事情コース

本プログラムは、日本事情英語講義、プロジェクトワーク、茶道・邦楽等の伝統的な日本文化体験、日本を代表する温泉地・草津への研修旅行を中心に構成され、その他にホームステイを実施します。また、日本人学生との交流の機会も用意しています。成果報告会ではプロジェクトワークの成果を報告します。プログラム修了者には修了証を発行します。

B コース：日本語によるプロジェクトワークコース

本プログラムは、日本語を用いたプロジェクトワーク、日本事情英語講義、茶道・邦楽等の伝統的な日本文化体験、日本を代表する温泉地・草津への研修旅行を中心に構成され、その他にホームステイを実施します。また、日本人学生との交流の機会も用意しています。各自設定するテーマに沿ってプロジェクトワークを実施し、成果報告会で報告します。プログラム修了者には修了証を発行します。

3. 参加資格・条件

A コース：英語による日本事情コース

- ✧ プログラム終了時まで群馬大学が指定する協定校等に在籍している学部学生又は大学院生
- ✧ 日本事情に興味、関心を持つ者（日本語の既習、未習を問わない）
- ✧ 英語による講義を理解でき、英語によるプロジェクトワークが遂行可能な者
- ✧ プログラムのすべての日程に参加できる者

- ◇ 来日前に海外旅行保険に加入すること

B コース：日本語によるプロジェクトワークコース

- ◇ プログラム終了時まで群馬大学が指定する協定校等に在籍している学部学生又は大学院生
- ◇ 日本語能力は中級レベル以上であり、日本語によるプロジェクトワークが遂行可能な者（日本語学習時間 600 時間程度、日本語能力試験 N3 合格レベルであること）
- ◇ 英語による講義を理解できる英語能力を有する者
- ◇ プログラムのすべての日程に参加できる者
- ◇ 来日前に海外旅行保険に加入すること

4. 実施期間・定員・参加費

実施期間：2020 年 7 月 7 日（火）から 7 月 20 日（月）まで（14 日間）

定 員：15 名（各コース 3 名以上で実施）

参 加 費：25,000 円

参加費は、授業に関わる費用およびホームステイ費用として使われます。その他、プログラム期間中の宿泊費および研修旅行費が別途かかります。また、渡航費、現地での交通費、食費、海外旅行保険の加入費用等が自己負担費用として掛かります。

5. 宿泊

宿泊は大学が準備する宿泊施設を利用します。

コンフォートホテル前橋 一泊約 4500 円（無料朝食付）

<https://www.choice-hotels.jp/hotel/maebashi/>

6. プログラム日程

※プログラムスケジュールは仮のものです。4月以降に確定スケジュールを公表します。

【A（英語による日本事情）コース】

	AM	PM	PM	PM
7/7（火）	オリエンテーション	ウェルカムパーティー	キャンパスツアー	学生交流
7/8（水）	日本事情①群馬の温泉都市と建築	プロジェクトワーク		
7/9（木）	日本事情②群馬にはなぜ糖尿病が多いのか	伝統文化体験（邦楽）		学生交流
7/10（金）	日本事情③カイク：日本と群馬におけるこれまでの歴史と将来の可能性	日本事情④人的多様性の可能性と課題をどう考えるか		
7/11（土）	研修旅行（温泉）草津＋四万			
7/12（日）				
7/13（月）	フリー			
7/14（火）	日本事情⑤日本の仏教美術：十牛図の美術的、普遍的、実践的解釈	文化体験（茶道）		学生交流
7/15（水）	日本事情⑥日本の伝統演劇～群馬を越えて～	プロジェクトワーク		
7/16（木）	日本事情⑦群馬の空き家と人口問題－アメリカとドイツと比較して－	プロジェクトワーク	大学施設見学	学生交流
7/17（金）	報告会準備	成果報告会	ホームステイ説明	
7/18（土）	ホームステイ			
7/19（日）				
7/20（月）	修了式	フェアウェルパーティー		

◆日本事情講義

タイトル	授業概要
担当講師	
群馬の温泉都市と建築	これまで、日本の温泉に関して、源泉の成分や効力または湯治文化が注目されてきた。しかし、古くから、日本人は、温泉都市、温泉宿、違う種類の入浴施設の設計に力を入れてきた。そこには、「水環境と都市・建築・人間」という大きなテーマが含まれている。そのため、本授業では、「温泉都市と建築」という観点から、多くの温泉資源を有する群馬県の温泉文化を探りたいと思う。
国際センター 陳雲蓮講師	
群馬にはなぜ糖尿病が多いのか	糖尿病は、世界で最も一般的な生活習慣病の一つである。群馬には非常に豊かな自然と健康的な環境があるにもかかわらず、糖尿病患者数が他の地域よりもはるかに多い。普通、きれいな空気、水、自然は人々を健康にすると考える。しかし、群馬ではそうっていない。本講義では、糖尿病をひきおこすメカニズムを簡単に説明し群馬に多くの糖尿病患者がいる理由の秘密を明らかにする。
医学部 鯉淵典之教授	
カイコ： 日本と群馬におけるこれまでの 歴史と将来の可能性	カイコは昆虫の一種で蛹の段階で繭を作る。繭からは絹糸を作ることができる。日本は1900年代前半においては、世界一の絹生産国であった。また、21世紀になると、遺伝子組換えの技術により、新しい特徴をもった絹やささまざまな有用タンパク質を生産できるようになった。本講座では、カイコの特徴、群馬における絹の生産の歴史、遺伝子組換え技術のカイコへの応用、などについて紹介する。
理工学部 武田茂樹教授	
人的多様性の可能性と課題をどう 考えるか	少子高齢化による急激な生産年齢人口の減少により、日本の産業構造は大きな転換が求められている。その実態と影響を概観し、その具体的な影響を理解するための事例として、群馬県内にも顕著に表れている外国人住民数の増加を考える。そこで生まれた多文化共生という地域課題のあり方を、約20年間継続的に進めてきた本学の取組を素材に、プログラム生とディスカッションする。
大学教育センター 結城恵教授	
日本の仏教美術：十牛図の 美術的、普遍的、実践的解釈	「十牛図」を中心に、禅宗美術に関する多面的解釈について分析し、説明する。この不思議な十枚の絵図は、数世紀に渡って我々に禅の教えを伝え続けている。当該作品における宗教美術品としての特徴に触れたうえ、それぞれの絵に描かれている教えについて考える。それを通して、十牛図における普遍的(一つの宗教または信仰に限らない)、実践的、および不変のメッセージを理解する。
大学教育センター Sylvain Bergeron 講師	
日本の伝統演劇 ～群馬を越えて～	群馬県では江戸時代から農村で歌舞伎や人形芝居などの伝統演劇が盛んに上演され、その伝統が今も生きている。この講義では歌舞伎を取り上げ、群馬の庶民の娯楽としての村芝居から、群馬を越えた江戸の大歌舞伎、その進化系のスーパー歌舞伎、超歌舞伎などを取り上げ、歌舞伎と現代を生きる私たちの関係を探っていく。
国際センター／社会情報学部 末松美知子教授	
群馬の空き家と人口問題 ーアメリカとドイツと比較してー	日本全体がそうであるように、群馬でも人口減少に伴い空き家が増加している。しかし、アメリカやドイツも日本と同様に人口が減少しているものの空き家は存在しない。その理由について考察するとともに、群馬における空き家を利用した地域活性化の取り組みの事例などを紹介する。
国際センター 越智貴子講師	

◆プロジェクトワーク

各自が現代日本社会に関するテーマから課題を見出し、プログラム期間中の体験やクラスでのディスカッションを通じ、解決策をまとめ、成果報告会で発表します。

【B コース（日本語によるプロジェクトワーク）コース】

	AM	PM	PM	PM
7/7（火）	オリエンテーション	ウェルカムパーティー	キャンパスツアー	学生交流
7/8（水）	日本語プロジェクトワーク①	日本語プロジェクトワーク②		
7/9（木）	日本事情①群馬の温泉都市と建築	伝統文化体験（邦楽）		学生交流
7/10（金）	日本語プロジェクトワーク③	日本事情②日本の仏教美術：十牛図の美学的、普遍的、実践的解釈		
7/11（土）	研修旅行（温泉）草津＋四万			
7/12（日）				
7/13（月）	フリー			
7/14（火）	日本語プロジェクトワーク④	伝統文化体験（茶道）		学生交流
7/15（水）	日本事情③日本の伝統演劇～群馬を越えて～	日本語プロジェクトワーク⑤		
7/16（木）	日本語プロジェクトワーク⑥	日本語プロジェクトワーク⑦	大学施設見学	学生交流
7/17（金）	報告会準備	成果報告会	ホームステイ説明	
7/18（土）	ホームステイ			
7/19（日）				
7/20（月）	修了式	フェアウェルパーティー		

◆日本語プロジェクトワーク

現代日本社会の諸問題に関して、各自設定した課題に沿った調査活動を行い、成果報告会に向けて準備を行います。調査テーマについての日本語ディスカッションや、日本語での質問紙の作成法、調査結果のまとめ方、発表のしかたなどを学びます。調査活動の結果は成果報告会で発表します。

◆日本事情講義

タイトル	授業概要
担当講師	
群馬の温泉都市と建築	これまで、日本の温泉に関して、源泉の成分や効力または湯治文化が注目されてきた。しかし、古くから、日本人は、温泉都市、温泉宿、違う種類の入浴施設の設計に力を入れてきた。そこには、「水環境と都市・建築・人間」という大きなテーマが含まれている。そのため、本授業では、「温泉都市と建築」という観点から、多くの温泉資源を有する群馬県の温泉文化を探りたいと思う。
国際センター 陳雲蓮講師	
日本の仏教美術：十牛図の 美学的、普遍的、実践的解釈	「十牛図」を中心に、禅宗美術に関する多面的解釈について分析し、説明する。この不思議な十枚の絵図は、数世紀に渡って我々に禅の教えを伝え続けている。当該作品における宗教美術品としての特徴に触れたうえ、それぞれの絵に描かれている教えについて考える。それを通して、十牛図における普遍的(一つの宗教または信仰に限らない)、実践的、および不変のメッセージを理解する。
大学教育センター Sylvain Bergeron 講師	
日本の伝統演劇 ～群馬を越えて～	群馬県では江戸時代から農村で歌舞伎や人形芝居などの伝統演劇が盛んに上演され、その伝統が今も生きている。この講義では歌舞伎を取り上げ、群馬の庶民の娯楽としての村芝居から、群馬を越えた江戸の大歌舞伎、その進化系のスーパー歌舞伎、超歌舞伎などを取り上げ、歌舞伎と現代を生きる私たちの関係を探っていく。
国際センター／社会情報学部 末松美知子教授	

7. 応募方法等

応募方法：所属大学の担当窓口を通じて、群馬大学に申請してください。大学の担当者が電子メールで申請書を提出します。

提出期限：2020年3月31日（火）

選考方法：参加希望者の国籍、所属機関、男女比などを考慮しながら、先着順に採用します。

採用通知：採用者は、大学の協定校担当者に、群馬大学から4月15日（水）までにお知らせします。

visa 申請に証明書が必要な場合には、4月末までにお送りします。

*採用された場合、速やかに①パスポートの写、②購入したフライトチケットの写を提出する必要があります。

参加費の支払い方法・キャンセルポリシー：

本プログラムでは、海外からの支払いを安全、便利に行うために、Flywireを利用します。自国の銀行、クレジットカード、デビットカード、オンライン決済など、参加者が利用しやすい方法で支払いが可能です。

Flywire について

<https://www.flywire.com/>

参加費及び研修旅行費と宿泊費は、採用が決まりましたら、納付期限をお知らせしますので、期日までに支払う必要があります。キャンセルポリシーについてもその際に合わせてお知らせします。

8. 群馬大学について

群馬大学は、東京の北西 100km に位置し、教育学部、社会情報学部、医学部、理工学部の各学部等から構成されています。現在、約 6,500 人の学生が在籍し、そのうち外国人留学生は約 250 人です。2019 年度は約 30 人が海外の協定校から半年間又は 1 年間留学しています。

9. 問い合わせ先

- ✧ (住 所) 〒371-8510 日本国群馬県前橋市荒牧町 4 - 2
群馬大学国際課 武井正人 TAKEI Masato
- ✧ (電 話) +81-27-220-7627 (FAX) +81-27-220-7630
(電子メール) g-exchange@jimu.gunma-u.ac.jp
(Web サイト) <http://www.guic.gunma-u.ac.jp/>